

いつでも・どこでも・誰でも

そして楽しく



## 和気あいあい楽しい時間を過ごしています

今回は、東日本大震災により福島県から避難している双葉町民の方を『食事と交流』で避難者支援し続けている『オバトン』（会員10名・サポート2名）をご紹介します。

毎月第2火曜・第4木曜日、加須市の〈キャッスルきさい〉にて双葉町の町民を対象に手作りの食事を提供し交流を深めています。



しかし…。ここ数か月は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、しばらくお休みが続いていました。7月に入り活動再開が決まりましたが、部屋の利用人数の制限、調理の制限など規制があり、当面は三密を避ける形での活動ということで午前と午後の2部制とし、市販のお弁当を出す形へ変更しました。

また、自粛期間中でも避難者支援の気持ちをずっと持ち続けていたボランティアさんは利用者さんの安否確認や体調の変化などに対応するため一軒一軒のお宅へ電話をかけていたそうです。『早くみんなで集まって以前のように賑やかに話をしたいね。他の人はみんな元気なの？』などいろいろと心配がありました。ようやく住み慣れた環境のはずだったのに人と接する事を避けなくてはいけないのはとても辛い事だったのではないのでしょうか。しかし、会えなくても一本の電話で活動に関わるみなさんとずっと繋がりをもち続けていたこの活動があったからこそ、再開へと進む事ができたのだと思います。

活動のかたちが変わっても工夫次第で人と人は繋がっていただけることをあらためて教えていただいた気がします。代表の田丸さんは、『東日本大震災から10年をむかえようとしている今、コロナ渦においても可能な範囲で輪を大切にしていきたい』と優しい口調で話されていました。



# 大和証券福祉財団令和2年度（第27回） ボランティア活動助成募集のご案内

## ＜応募課題＞

- ① 高齢者、障害児者、子どもへの支援活動及びその他、社会的意義の高いボランティア活動
  - ② 地震・豪雨等による大規模自然災害の被災者支援活動
- ※①②ともに確認事項がありますので注意してください。

## ＜応募資格＞

ボランティア活動を行っているメンバーが5名以上でかつ営利を目的としない団体（任意団体、NPO法人、財団法人、社団法人、大学のボランティアサークル等）。  
※活動実績は問いませんが、設立して間もない団体による応募は助成対象期間の活動予定が決まっている団体に限ります。  
※同時募集の『第3回子ども支援活動助成』との同時応募はできません。

## ＜助成金額＞

上限30万円（1団体あたり）総額4,300万円

## ＜助成対象経費＞

助成対象となる経費の項目は下記のとおりです。  
「交通費・旅費」「備品」「消耗品費」「通信費」「会場費」「制作費」「謝金」「その他」  
詳細は、【申請書記入に関する留意事項】の「助成金使途内訳」をご覧ください。

## ＜応募期間＞

令和2年8月1日～9月15日（火）（当日消印有効）

## ＜助成対象期間＞（領収書の有効日付）令和3年1月1日（金）から1年間

※注意 申請にあたり社協等のコメント欄（必須）の記入が必要となります。  
申請の際は早めにご相談ください。

## ＜応募方法＞

- ① 所定の申請書を財団事務局内宛にご郵送ください。  
申請書は財団のホームページからダウンロードできます。
- ② 申請書のコピーは必ずお手元に保管してください。  
お送りいただきました書類の返却はできませんのでご了承ください。



★★詳しい内容等は財団ホームページをご覧ください★★

### ●募集先●

公益財団法人 大和証券福祉財団事務局

ホームページ <https://www.daiwa-grp.jp/dsf/grant/>

### ●問合せ先●

TEL 048-597-2100 FAX 048-597-2102

〒365-0062 鴻巣市箕田4211番地1

鴻巣市社会福祉協議会 ボランティアセンター

